

# にぎわい



【発行元】 株式会社 大兼工務店 いちご倶楽部  
0748-42-1151

## キラリ まちの人

でくち 薫さん



今回は、20年程前から木の玩具や家具作りを手掛けられている、東近江市神郷町にお住まいの出口薫さんをご紹介します。元々は住宅の基礎やコンクリートブロック積の工事をされていた出口さん。陶芸家の知人の工房にと、ログハウスを建てさせてもらった事がきっかけとなって、現在の仕事を手掛けられるようになりました。ところで、…出口さんの仕事って？



玩具、家具作りはもとより、店舗内装工事やログハウスのりに、銘木、間伐材、集成材、廃材あらゆる木を活かす木づくりにコーディネートして感じかなあ。

自然素材、特に地場の木を使つての仕事は採算が取れないのが現状。「間伐材を活用した家具や生活用品がPRされているけど、森林組合があれば材料をそろえて、仕上げに手間をかけ製作するからには、大量に製品を作らないと合わないんです。それに、山で木を切り出すだけならまだしも、運び出す手間賃が出ないし…」厳しい現実ですね。しかし、出口さんはこうも話して下さいました。「山にある間伐材は既に成長し過ぎていて、ひとり生えの木を選んで切り出して、皮をむいて材料にします。手間が掛かりますけれど、個人なら経費も余り掛からないし何とかなるんですよ」とちょっと安心ですね。

ただ、これでは手作りの木工製品は高価で、容易に私達の手に入るものではありませんね。出口さんは少しでも多くの人に、柔らかい味と温もりのある木工製品を届けたいと、心の底から思っておられます。そのために、使われる材料の大半は廃材。製材所で燃やしていた、ヒノキやヒバなどの無垢板の端材を何かに使えないかと、それらで玩具や家具作りをチャレンジしてみたら、…なかなか良いものができたそうです。「自然素材にこだわって職人が満足できる良い作品を作り始めたら、完成度が高くなって遊びがきかないモノになる。でも廃材で作品を作れば、工夫次第で遊びのあるモノができる」と話され、丈夫で使いやすく、簡単に安く作ることにこだわっておられます。元来、ものづくりが好きで、元々、ものづくりが好きな出口さん。製作中も手間を減らすことはできないか？手順を変えれば早くできないか？と製作に取り組んでおられます。そして、工房にストックしてある廃材の山を眺めれば、機能はたせても形にならないものは、どんな形にできるのか？と考へ続けることが楽しいとのこと。今も、小さい端材でも簡単に丸く加工する技を編み出され、タイヤを作ることで玩具のバリエーションを増やされています。



全国各地のイベントに年間10〜15回程度参加される出口さん。イベントでは椅子の実演販売で、お客様に台座や脚を選んでもらうオリジナルの椅子を、

一日百個も作られたこともあったか。凄いですね。小さなモノから大きなモノまで、たくさん種類の玩具が工房には並んでいます。でも、なぜか全部白木のままなんです。「玩具に色を付けたほうが見栄えがするのでは？」とお尋ねすると、「紙めても良い塗料を塗るくらいなら、白木のほうがイイでしょ」と出口さん。これがポリシーなんです。

今回は『とびはこや』出口さんのオリジナル玩具を3名の方にプレゼントします。

ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・「木のおもちゃ希望」とご記入の上、ファックスまたはメールで9月10日までにお申し込みください。応募者多数の場合は抽選で決めさせていただきます。発表は木のおもちゃの発送をもってかえさせていただきます。

FAX 0748-42-4935

メールアドレス info@daikane.co.jp

件名「木のおもちゃ希望」とご明記願います



## 台風と台風対策

台風って？



台風とは、北西太平洋(赤道より北で、日付変更線(東経180度より西の領域)または、南シナ海で発生した熱帯低気圧の内、中心付近の最大風速(10分間平均)が34ノット(17.2m/s)以上のものを台風と呼んでいます。

また、最大風速が64ノット(32.7m/s)以上のものをタイフーンと呼んで海外ではそれぞれ分けて使う場合もあります。日本では台風、タイフーンどちらも一般的に「台風」と呼んでいます。

そもそも、台風の呼び名には、諸説ありますが、一説には台湾の方から来る嵐を意味する中国語をアラビア人がヨーロッパに伝えた言葉で、日本では「大風」、又は「颶風」から「台風」と書かれるようになったと言われています。

台風、ハリケーン、サイクロン。これらは、みな同じ熱帯低気圧です。

熱帯低気圧の呼び名は、発生する海域で違ってきます。

台風は、北西太平洋で発生する熱帯低気圧です。ハリケーンは、北西大西洋と北東太平洋で発生する熱帯低気圧です。語源は、南米インディオの「風の神」に由来するという説と、昔スペイン人が、とぐろを巻くという意味の「ウラカーン」と呼んでいた事からハリケーンと呼ばれるようになったという説があります。サイクロンは、ベンガル湾、アラビア海で発生する熱帯低気圧です。サイクル(旋回)を意味するギリシャ語に由来するといわれています。

台風は、一年間で約27個発生し、日本に接近する台風は平均11個、その内3個くらい日本に上陸します。しかし、記憶に新しいところでは、2004年(平成16年)のように29個発生し、その内10個が上陸し、各地に多くの被害をもたらせた年もあります。

県下では、近年、台風による大きな被害は出ていませんが、過去には、伊勢湾台風などで大きな被害が出ています。

毎年やってくる台風。そこでせめて被害を少しでも少なくするため、台風対策をご紹介します。

普段の備え

☆自前のハザードマップを作っておきましょう。

避難経路の危険箇所(マンホール、溝、小川、水たまり)を事前に把握しておきましょう。危険箇所が見えなくなりました。避難路上にみだりに外れたマンホールや側溝に落ちて犠牲となるケースが圧倒的に多いのです。



Sverdrup's World Ocean Map

☆家族で、緊急連絡方法、集合場所などを決めておく必要があります。一年に一度は家族防災会議を開きましょう。

☆水害に備え、排水溝の清掃や周囲の片付けなど「防災大掃除」を季節の変わり目など定期的に実施しておくといいでしょう。

☆浸水する可能性のある出入り口な

どこには、水の侵入を防ぐための土のう袋を用意しておくといでしょう。容易に土や砂が用意できない場合は、水を吸い込む膨らんで土のう袋と同じ働きをする「吸水ゲル水」なども市販されています。

台風が来る前の準備

窓、雨戸はしっかり力をかけ、必要ならば外から板を打ち補強する。窓ガラスなどは、ガムテープ、ビニールテープで補強。庭やベランダなどに出ている鉢植えや「3箱」などは、家の中に取り入れる。

テレビのアンテナなどは、針金などで補強。停電に備え懐中電灯、携帯ラジオ、電池を決めた場所に準備しておく。最寄りの避難場所、避難経路を確認しておく。

断水に備え3日分くらいの飲料水を確保しておく。

台風がきたら

台風情報を注意深く聞くようにする。外出は避け、危険な場所に近づかない。懐中電灯、ラジオをすぐ取り出せるようにしておく。

いつでも避難できるように、非常用品をまとめた袋を用意する。病人、乳幼児、お年寄りなどは、安全な場所に移動する。

家族でもう一度避難場所、避難経路を確認し、連絡方法、集合場所などを決めておく。

避難のときは

避難の勧告、指示があったら、すばやく避難する。「無駄足覚悟で早めの避難」を心がける。

浸水40〜50cmになると、外開きのドアは開かなくなるので、早期自主避難する。

避難するとき、水の中で流されないように、避難者同士ロープを腰に結んで数人で避難する。

持ち物は、最小限にして背中に背負うなどして両手を使えるようにしておく。

持病の医薬品を持ち出す。

頭はヘルメットや、安全帽で保護、靴は厚底で滑り止まりの丈夫で底の厚い運動靴などが良い。(長靴は水が入ると動けなくなる)

避難の前には、必ず火、ガスの始末をする。

### 簡単レシピ マンゴープリン

エバミルクを使ったコクのあるトロピカルなマンゴープリンをご紹介します。

材料 (生地)

マンゴー	1個	粉ゼラチン	7g
エバミルク	170g	水	70g
生クリーム	80g	〈飾り用〉	
砂糖	30~50g	生クリーム	適量
水	100g	マンゴー	1/2個

下準備

ゼラチンは分量の水で10分程ふやかしておきます。

生地作り

- マンゴーは皮を剥きホイッパーで潰します。
- エバミルク・水・砂糖を加え火にかける。砂糖が溶けたら火を止めます。
- ふやかしたゼラチンを加えます。
- ゼラチンが溶けたら、氷水にあててゼリー液を冷まします。
- 潰したマンゴー・生クリームを加えます。
- とろみがついたら型に流し入れ、冷蔵庫で冷やします。
- 固まったらカットしたマンゴー・生クリーム・ミントの葉などで飾り付けて完成です。

One point

- マンゴーはよく熟したものを使うとより美味しく出来ます。
- 生クリームとマンゴーをミキサーにかければ滑らかなマンゴープリンが出来ます。